



緊急事態宣言の中で

年明け早々から実施された緊急事態宣言ですが、2月を迎え、当初予定されていた7日の宣言解除の時が近づいてきました。しかし、残念ながら新規感染者数は、思うように減じていません。そんな中、東京で千人を下回ったとか、神奈川で三百人台だったと聞いて少し減ったかなとホッとしている自分がいます。怖いことです。このように発表される数字に麻痺してしまい、慣れが生じてしまうことが、最も危ない落とし穴だと思います。重症患者の数は医療現場の限界に迫ってきていますし、死者も多くなっているのが現状だと思います。今、私達ができることは、やはり以前からお話しているように、まず自分がしっかり感染予防対策を行って生活することです。自分や自分の周りの大切な人に感染しないように気をつけることです。また、そうした行動が、逼迫した医療現場を応援し助けることにも繋がります。様々な制限や忍耐を強いられて、みなさんも本当にストレスがたまる状況だと思いますが、もうひと踏ん張り今の我慢の生活を続けていきましょう。



外出する機会が減り、家で過ごすことが多くなる中、みなさんはどのように毎日をご過ごしていますか。学生なので、まずは勉強というのが模範解答ですが、そればかりでも飽きてしまうでしょうし、身体を動かしたくなる人もいるでしょう。情報番組などを見ていると、部屋の整理・片付けを行う人も多いようです。不要になった衣類や書籍を売りに行く人もいるようです。ちょっとしたお小遣い稼ぎにもなるみたいです。また、家の近隣を散歩やジョギングするのも気分転換や抵抗力のアップになると思われます。ゲームをして過ごしている人が多いのかもしれませんが、こうした普段していないことにチャレンジしてみるのも、いいかもしれませんね。

「一人ひとりを認め、学びあい、夢を拓ける学校」をめざして

神奈川校では、「人は誰もがかけがえのない大切な存在であり、そうした一人ひとりを認めあい、尊重しあって、安心して楽しく学ぶことができ、それぞれの夢の可能性を拓けていける学校」をめざしています。

♡ 2月以降の教育活動について

2月以降も世の中の状況が変わらない限り、短縮授業とオンライン授業での教育活動が基本となります。ただ3年生の登校が少なくなりましたので、1・2年生は一日おきに二つの形態を繰り返す形で進めていくこととなります。また、中旬（16日～19日）には1・2年生の単位認定試験が予定されていて、この期間は二つの学年が同時の登校ということとなります。神奈川校では、これまで同様感染症対策をしっかりとって教育活動を進めていきますが、感染症の広がりに伴い、身近な人の感染や自分が濃厚接触者になることも十分に考えられます。体調が悪いときや微熱があるときは、無理をせず医師の診断を受けましょう。学校への連絡も忘れないでください。

また、3月に入りますと三者面談が予定されています。これは文書でもお知らせしたように原則としてオンラインによる形での面談となります。不慣れな面もあり保護者の皆様にはお手間を取らせませんが、こうした時勢のなかでもあり、ご理解とご協力をお願いいたします。不明な点などありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。最後に卒業式についてですが、詳細は別途ご案内申し上げますが、卒業式も例年のような形での実施は難しいと考えております。しかし、可能な限りの形で実施できるよう最善を尽くしてまいります。

緊急事態宣言の出されている中、こうしてお話している予定も、いつどんな形でも変更を余儀なくされるやもわかりません。急遽変更などの場合は、緊急メール（オクレンジャー）や学園ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認ください。



2月3日には立春を迎え、暦の上では春の到来を告げていますが、まだ厳しい寒さは続くものと思われます。生徒のみなさん、ご家族の皆様も、体調管理には万全を期して、この自粛期間を心も体も健康に過ごされますように祈念しております。